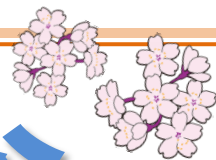




# ふれあい 北守谷



令和 2 年 3 月 25 日 発行

## まちづくり協議会 2年目の活動に入る！！

北守谷地区まちづくり協議会の活動も4月より2年目を迎えます。これまでの活動をさらに充実・発展させるとともに新たな事業も取り組みます。北守谷地区の皆さんが一層「暮らしやすい街」となるように進めていきますので住民の皆さんのご理解・ご協力をお願いいたします。令和2年度(R2)の主な事業を紹介いたします。

ぶらぶら亭 口琴クラブとのコラボ @ 大山公園



北守谷地区「敬老の集い」 @ 御所ヶ丘中学校



グラウンドゴルフ

まち協 活動推進会議

### 地域福祉部会 (R2事業 予算要求規模40万円)

- 町内の「困りごと解決」支え合い・助け合い事業
- 「子供の見守り活動」強化と活動研修会の実施
- 子どもの見守り強化事業 危険個所等での立証活動
- グラウンドゴルフ等健康スポーツ推進事業
- アダプトテニス教室の開催

### 交流活動部会 (R2事業 予算要求規模61万円)

- どこでも茶屋ぶらぶら亭事業 (大山公園)
- どこでも茶屋くわがた亭事業 (くわがた公園)
- 多世代交流事業 (おもちゃ病院)

### 広報部会 (R2事業 予算要求規模23万円)

- 「ふれあい北守谷」広報誌(年3回)発行

### 防災・防犯・交通安全部会 (R2事業 予算要求規模64万円)

- 3小学校区の避難訓練の実施
- ながらパトロールの推進
- 防災・防犯・交通安全の啓発活動、研修

### 北守谷地区敬老行事 (R2事業 予算要求規模68万円)

- 北守谷地区「敬老の集い」の開催
- **10月17日(土) 御所ヶ丘中学校 体育館(予定)**
- 敬老行事に関する意向調査の実施

### 生活環境部会 (R2事業 予算要求規模15万円)

- 公園・遊歩道の美化推進活動事業
- デマンドタクシー利用状況調査

※上記の各部会の事業予算要求規模は2月時点の概算レベルであり確定ではありません。5月に確定する見込みです。

◆お知らせ◆ ぶらぶら亭、くわがた亭 春シリーズはコロナウイルス対策のため、4月11,12日からの開催に変更します

「北守谷地区まちづくり協議会」では少しでも多くの方に事業に参加いただくため広く構成員を募集しております。協力いただける方は下記にご連絡下さい。 問い合わせ先 守谷市 生活経済部 市民協働推進課 0297-45-1111(内線131)

# ＜今年度各部会の活発な活動＞

北守谷地区のまちづくり活動は発足初年度より大変活発で守谷市でモデル的な存在として注目されています。

## 防災・防犯 交通安全部会

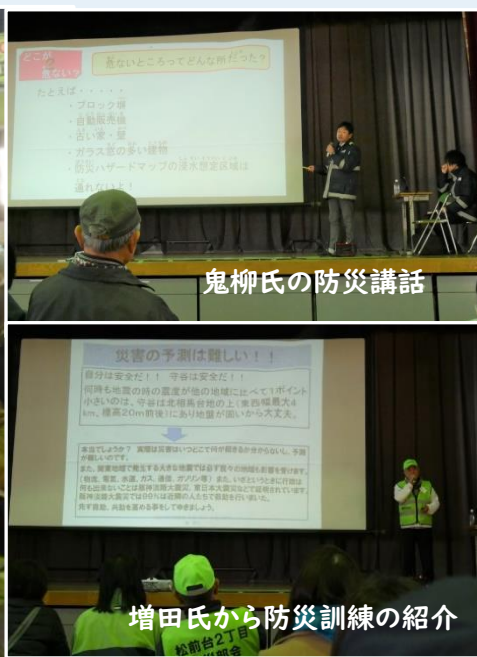
### 初の！松前台小学校区 避難訓練実施！！

2月11日(火・祝)まちづくり協議会の防災・防犯・交通安全部会(佐藤芳郎部会長)では松前台小学校区(松前台地区・大山新田)を単位とした避難訓練を初めて行いました。各地区から徒歩で体育館に避難し計289人が参加しました。防災講演では守谷市の鬼柳一樹防災担当副参事が参加者に各自治会単位の地図を使って危険個所の災害マップの作成してもらいました。松前台2丁目の増田尚三氏は自治会の防災活動の意義とその重要性を話されました。その後、市交通防災課の岡田さんが防災〇×クイズを行い、参加者は守谷市の防災について最新情報を知ることが出来ました。消防第12分団からも10人参加して頂き、斉藤秀文次期分団長から講評を頂きました。

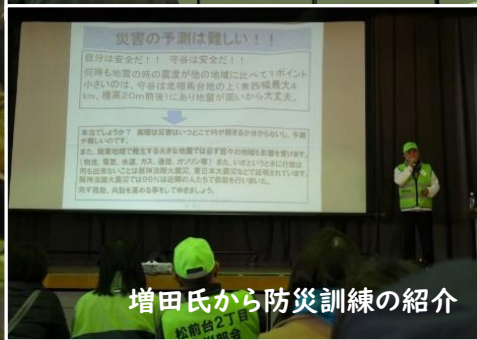
次年度は御所ヶ丘小学校区、大井沢小学校区単位でも防災訓練を行う予定です。



多くの方が防災マップを見ながら地域の危険個所や避難場所を確認しました



鬼柳氏の防災講話



増田氏から防災訓練の紹介

防災マップに危険個所を記載



岡田さんによる防災〇×クイズ



消防第12分団高橋氏の講評



## 生活環境部会

### 立沢、大山公園のベンチ修繕が完了！

「できるものは自分たちで行い、そうでないものは市へ提案」することで、一つ一つ解決するよう努めました。市も素早い対応をしてくださいました。

- ◆立沢、大山公園の長椅子の修繕等美化活動の実施。
- ◆遊歩道のベンチの修理箇所の点検や生い茂る木々の伐採等を市に提言しました。



大山公園のベンチが一新されました！

## 地域福祉部会

### 地域全体で子どもの見守りを！

- ◆子どもの見守りに重点を置いて地域で守ろう「こどもの安全」ののぼり旗200本をつくり域内に設置しました。
- ◆定期的にランドゴルフを行い、用具収納庫を薬師台5丁目の緑化公園内に設置しました。
- ◆アダプトテットスポーツ教室(毎月第4日曜日に開催)を支援しました。
- ◆助け合い、支え合い活動では「御所ヶ丘助け愛の会」への支援の継続と仕組みづくりを行いました。



各家庭にも掲示しました

## 活動紹介

### 御所ヶ丘五丁目 助け愛の会

地域福祉部会では助け合い、支え合い活動を行っています。65歳以上の高齢者が困っていることがあれば会員が様々な助け合い活動を行っています。一番多いのは庭の手入れで、垣根の剪定、樹木の伐採、草取り等を行っています。また、粗大ごみの搬出、搬送をはじめ電球の交換、家具の移動、病院への付き添い、雨戸の修理等、会員が出来ることは何でも行います。

料金は1時間以内 200円  
3時間以内 1000円  
活動会員は約40名登録されています。

現在この活動は御所ヶ丘5丁目だけで行われていますが、今後は北守谷全体にこの制度を構築していきたいと考えています。

助け愛の会メンバーのみなさん



## 地域交流部会

### ぶらぶら亭・くわがた亭・おもちゃ病院

◆ぶらぶら亭:大山公園で春と秋に各3ヶ月間、コーヒー茶屋を開きました。今年で7年目となりました。毎回有機野菜を販売する他、ハーモニカ、野外コーラス等とのコラボで交流を深めました。(春・夏:延べ参加者4,300人超)

◆くわがた亭:くわがた公園で春と秋に各3ヶ月間、コーヒー茶屋を開きました。また、11月はワイワイ大井沢へ協力して交流を深めました。

(春・夏:延べ参加者600人超)

◆おもちゃ病院:毎月第3水曜日午前中キ・ターレで開院していますが、この他、今年度は松前台小児童クラブで初めて開催できました。年間22回開き、玩具などの修理や工作を通して児童との交流を図りました。



昨年の立沢公園でのぶらぶら亭開催模様



クリスマス会工作風景

## 敬老行事事業

### 敬老の集い開催

◆北守谷地区の「敬老の集い」を9月21日(土)に開催しました。参加者は420名を超え大変好評でした。催し物は例年のパタカ体操、わくわくゲーム、ハーモニカ演奏、御所ヶ丘中学生の吹奏楽部演奏の他メインイベントとして真打の古今亭志ん陽師匠が落語と踊りを演じられました。

## 北守谷夏祭り資機材修繕事業

◆電気配電盤等の修繕費を支援しました。 →→→

## 防災・防犯・交通安全部会

### 安心安全なまちづくり活動

- ◆松前台小学校を避難所とした避難訓練を行いました。
- ◆防犯ベストをつくり構成員が着用して「ながらパトロール」を行っています。
- ◆秋の「交通安全キャンペーン」に参加し交通安全啓発を行いました。



更新された配電盤

「地域の人との関わり」の中で学び育った子は、  
地域を「ふるさと」として決して忘れる事はない

～ 学校を核とした地域づくりの推進 ～

御所ヶ丘中学校の小口勝洋校長先生は2016年に赴任されて以来4年に亘り、強いリーダーシップと行動力で生徒・児童の教育のみならず、北守谷の地域の様々なイベントに絶大なご協力を頂きました。

敬老の集い、北守谷地区夏祭り、北守谷公民館地域ふれあいまつり、キ・ターレ、小学校のおまつり等での吹奏楽部の演奏、科学研究部の大シャボン玉作りなどがありました。この3月末をもって定年退職されますが、教育理念を力強く実践されてこられた校長先生に寄稿をお願いしました。



中学校にお邪魔すると校長先生から色々なお話を伺うことができます。その中で昨年こんな話がありました。「北守谷地区夏祭りは100%手作りであれだけ大きなお祭りを長年住民の力で続けているのは素晴らしい事、他の地域では見たこともありません。吹奏楽部の演奏、科学研究部の催し、放送委員会のアナウンス等をやらせてもらっています。これは常日頃、教員や生徒に伝えている事ですが、地域の人たちと一緒にイベントをする事で生徒達には地域の人たちがやってくれている事を身近に認識できる場であり、学校での学びの実践でさらに自信を付けられる場でもあるため積極的に参加するように指導しています」と、このお言葉に大変感銘を受けました。

教育は、地域社会を動かしていくエンジンの役割を担っており、教育により、子供達の一人一人の潜在能力を最大限に引き出しすべての子ども達が幸福に、よりよく生きられるようにすることが求められています。

学校は、全ての子どもが自立して社会で生き、個人として豊かな人生を送る事が出来るよう、その基礎となる力を培う場であり、子ども達の豊かな学びと成長を保証する場としての役割のみならず、地域コミュニティの拠点として、地域の将来の担い手となる人材を育成する役割を果たしていかなければなりません。

一方、地域は実生活・実社会について体験的・探究的に学習できる場として子ども達の学びを豊かにしていく役割を果たす必要があります。

そして、これからの学校と地域の連携・協働の姿として、次の3つの姿を目指す事が大切であると考えています。

- ① 地域の人々と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子ども達を育む  
「地域とともにある学校」への転換
- ② 地域のような機関や団体等がネットワーク化を図りながら、地域全体で学びを展開していく  
「子供も大人も育ちあう教育体制」の構築
- ③ 学校を核とした協働の取組を通じて、地域の将来を担う人材を育成し、自立した地域社会の基盤の構築を図る「学校を核とした地域づくり」の推進

この姿を具現化していくためには、学校と地域の双方で連携・協働を推進する為の組織的・継続的な仕組みの構築が不可欠であると考えます。

是非、守谷型保幼小中高一貫教育の中に地域人材を活用し、将来必ず学び育った守谷市・北守谷地区に戻って来る子の育成に努めていきたいと考えています。学校内での学びにも地域での学びの場でも

「地域の人との関わり」の中で学び育った子は、地域を「ふるさと」として忘れる事はないと思います。世界で輝く人となってもいつか必ず戻り、「ふるさと」の為に次世代の守谷市・北守谷地区の為に活躍してくれるものと確信しています。守谷市・北守谷地区の発展には、学校と地域の連携・協働を通して、未来の展望をみんなで考え共有し、具体的に実行していくことが必要だと考えます。守谷市・北守谷地区の更なる発展を今後益々期待しています。

北守谷地区の皆様には4年間、大変お世話になり、誠にありがとうございました。感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

守谷市御所ヶ丘中学校区一貫教育推進委員長  
守谷市立御所ヶ丘中学校 校長 小口勝洋



5年生が一人一人の招待者と手をつないで入場しました。児童の合唱の声が大きく響き、波となってからだ全体に音圧を受ける感覚は大変新鮮で感動しました。

各クラスの工夫を凝らした発表は素晴らしく、5年生の「こんにちは」を色々な国の言葉で紹介したり、ポリオの予防ワクチンを受ける世界の子どもの状況など社会性に目を向けた発表も良かったです。

最後の御所ヶ丘中吹奏楽部による演奏には児童・保護者・先生から万雷の拍手が送られました。



「つなげよう笑顔を 咲かせよう絆の輪」をテーマに掲げ、第1部は学年の発表、第2部はPTA主催のイベント・体験活動が行われました。学年発表では実行委員会を中心に計画から司会進行まで、全てを児童たちで行いました。児童たちに全ての運営を任せられる御所ヶ丘小は素晴らしいと思いました。各クラスで工夫を凝らし、一所懸命取り組んできた児童の姿と笑顔が、見ている人たちを笑顔にしていました。体育館いっぱい児童の声が鳴り響き大きな感動に包まれました。



今年も子どもたちが楽しみにしているワイワイおおいさわが秋晴れの空の下、賑やかに開催されました。

プレイベントとして、車いすバスケットボールプレイヤーの菊池隆明講師を迎え、車いすバスケの紹介と体験、講話がありました。イベントでは「体験型」が多く、スライムやバスボム作りなど大いに賑わっていました。5年生のコーナーでは立沢里山で作ったお米のカレー販売が行われ大人気でした。地域からは「くわがた亭」「おもちゃ病院」の出店があり、子どもたちとの交流が行われました。

# 第19回 北守谷公民館地域ふれあいまつり

北守谷地区の幼保園小中学校高校の皆さんと共に「地域交流・ふれあい」を目指した第19回北守谷公民館地域ふれあいまつりが2月17日(月)～23日(日)開催されました。

開会式では屋嘉部めぐみ新実行委員長の挨拶の他、松丸市長始め、多くのご来賓の方からお言葉を頂きました。開会式後のアトラクションで郷州マジッククラブによるマジックショーがあり大変な盛り上がりを見せました。18日は岡仁先生による「食」に関する講演と二三ヶ丘幼稚園の発表、20日はアネシスナーシング保育園の発表が行われました。

期間中は恒例の各サークル、ひこうせん、3小学校と中学校の児童・生徒の17部門の作品展示がありました。しかし、週末22、23日に予定されていたサークルや中学校の演奏、演技など沢山の催し物、また、守谷高校、蕎麦クラブ、ぶらぶら亭等の多くの模擬店はコロナウイルス対策で全て中止となりました。残念でしたが来年の機会を楽しみにしています。



## ＜ たいへんうれしいお話し ＞

### 全国ラグビー大会、優勝!!



9月14日(土)～16日(祝)に茨城県水戸市にて開催された「太陽生命カップ2019第10回全国中学生ラグビーフットボール大会」で御所ヶ丘中3名が所属する南茨城ラグビースクールが優勝しました。

左から3年山下裕太郎さん、竹本晃大さん、2年城央祐さんです。今後のラグビーブームを支える選手になることを期待しています!



## キ・ターレ クリスマス会



12月14日(土)、守谷交流センターにて、キターレ(児童センター)主催による幼児、児童を対象としたクリスマスイベントが実施されました。今年はインフルエンザ流行の影響で参加者は例年の半分で150人程となりました。

子供たちは9種のミッションをクリアし、スタンプを集めて最後にビンゴゲームに参加しました。ミッションのなかでも、ぶんぶんこま作りは少し難しく、地域のボランティアの方の指導のもと、親子で集中して作製している姿が印象的でした。他にも映画鑑賞やマジックショーもあり、会場はほぼ満員でした。ボランティアは高学年の小学校5、6年生、中学生、高校生が中心となり、やさしく丁寧な対応が素晴らしかったです。地域の方々の協力のもとで開かれているキターレの行事になっています。



- ・コロナウイルス禍で3月は全てのスケジュールの変更が迫られました。日本や世界経済に及ぼす影響も甚大になると思います。歴史的に見ても人類は細菌との戦いを続けています。ペスト、コレラ、結核などなど、早く克服出来る事を願うばかりです。東京オリンピックは何としても実現して欲しいものです。
- ・小口校長先生は退職までの4年間を御所ヶ丘中で勤められました。日頃のお話の中でも学校と地域との関わりを重視され、実践される先生の熱い情熱を感じました。コロナウイルス対策で大変ご多忙の中、快く寄稿して頂き大変ありがとうございました。今後のご活躍を心より願っております。
- ・今回は紙面の構成を変えてみました。読み易くなりましたでしょうか。皆さんのご意見を是非お寄せいただきたいと思います。

マスク越しゴヨリ光る眼ウイルス禍 (増)